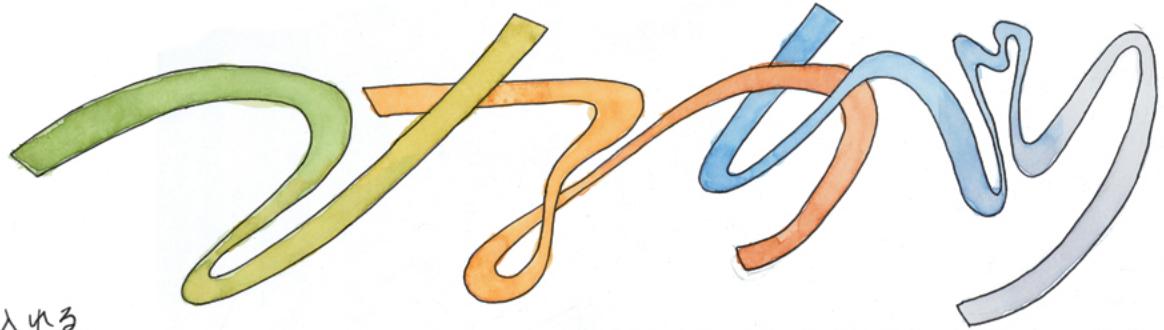
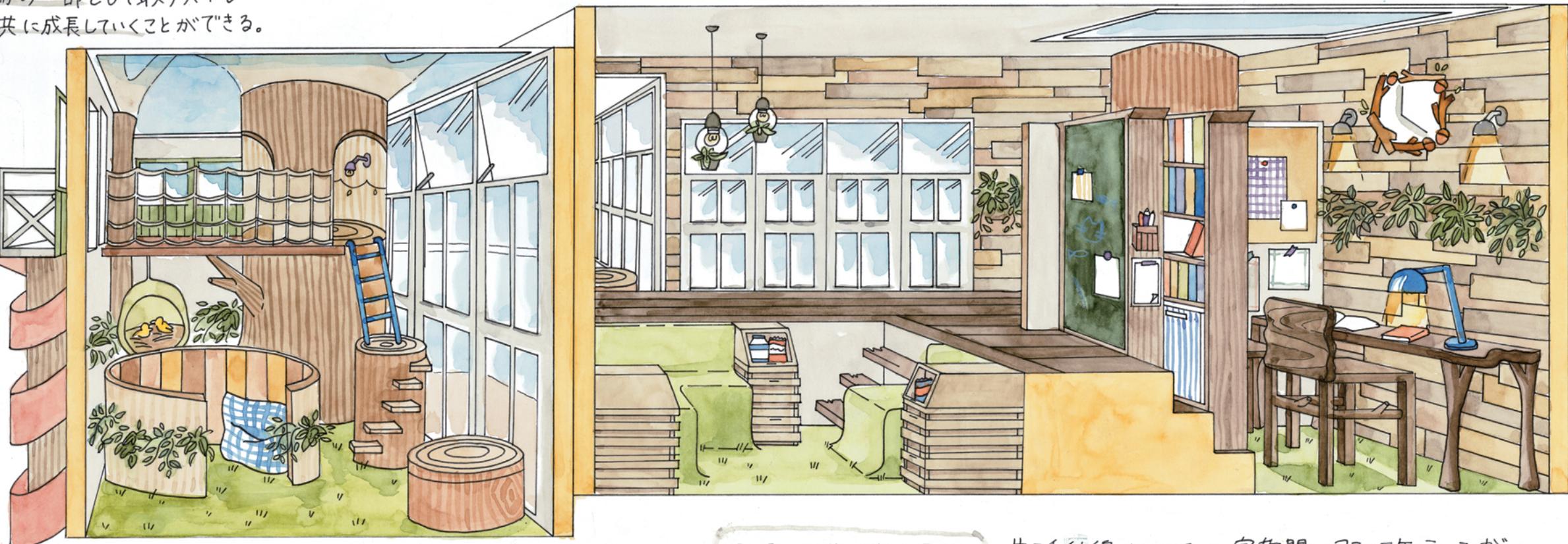




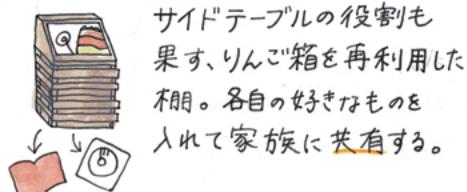
→木を伐採せず建物の一部として取り入れることで、人と自然が共に成長していくことができる。



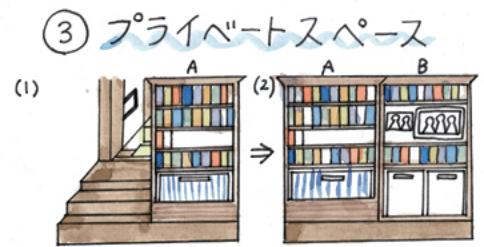
コンセプト 自然が急速に減少している現代には私たちの生活空間に自然を合わせていくのではなく、自然の形態に私たちの生活空間を適応させ、自然とのつながりを尊重し、家での活動力の幅が広がっている現代には家族のありのままの姿に寄り添うリビングを提案(つながる)する。



共有の空間を床から下げる位置に置くことで家族3人の親密な空間を作り出すことができる。



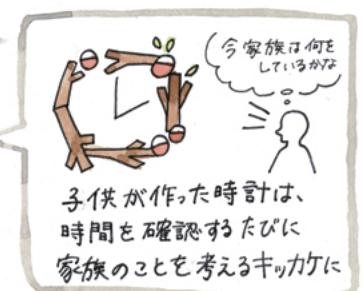
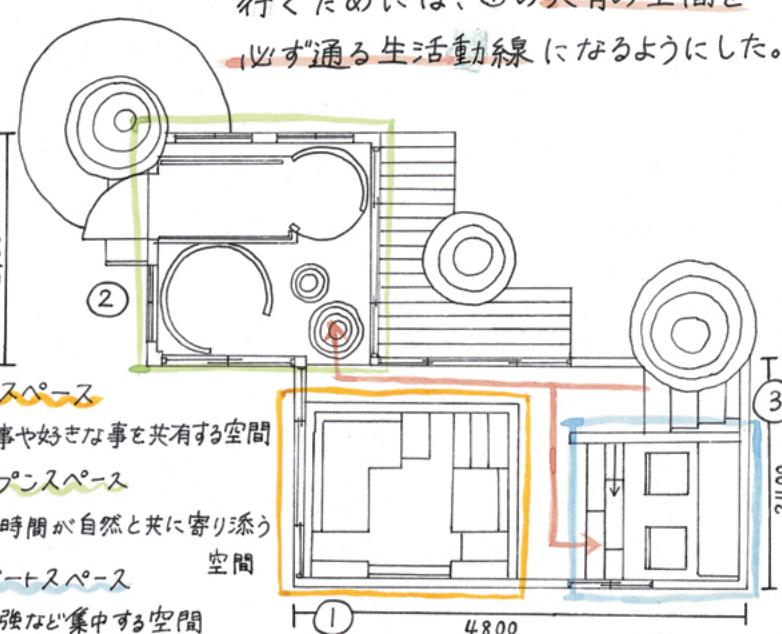
空間の高さを変えたり、ちょっとした仕切りで、個人の時間は守りつつ、窓閉はしないことで②の部屋のどこにいても、コミュニケーションを取りることができます。



(1) 開いた状態 目線の高さが同じ辺りになるため、会話も可能。
(2) 閉じた状態 (2)の状態であっても、家族の存在を感じられるよう、棚Bに家族写真を飾るスペースを作り、棚の裏に子供が遊べる遊びスペースを作った。

②、③の天井のガラス張りや、壁に植えた植物、床に芝生を使用することで自然と一体になった空間に。

生活動線について → 家族間のコミュニケーションが途絶えないよう、②③の空間に行くためには、①の共有の空間を必ず通る生活動線になるようにした。



① オープンスペース → 毎日の出来事や好きな事を共有する空間
② 半オープンスペース → 各個人の時間が自然と共に寄り添う空間
③ プライベートスペース → 仕事や勉強など集中する空間